



Rotary
第 2570 地区

週報

入間ロータリークラブ



2018-2019 RI 会長: バリー・ラシン RI2570 地区ガバナー: 茂木正 会長: 齋藤栄作 幹事: 豊田義継

第 10 号 3039 回例会 2018 年 9 月 13 日 (木)

< ビジター・ゲスト >

埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校
校長 山口 伸一郎 様

< 会長の時間 > 齋藤栄作会長

9 月 6 日午前 3 時 8 分発生した「平成 30 年北海道胆振腰部地震」で被災された方々に心よりお悔やみを申し上げます。こちらは地区からの連絡を待ち協議してゆきたいと思います。7 月西日本豪雨、埼玉県熊谷市が観測史上最高を記録した 41.1 度にみる高温異常気象、7 月 1 か月で全国 133 名の熱中症による死亡者、9 月 4 日台風 21 号が大阪を中心とした関西地区を直撃、関西国際空港が高潮浸水 3 日間閉鎖、など今までにない自然災害が続いております。我々も今までの自然災害に対しての常識を考え直す場面に直面しているかも知れません。



今月は基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間であります。今年のプログラムはこの月間に忠実に 1 年間を展開しております。本日も「わかくさ高等特別支援学校」の山口校長から卓話を頂戴します。

ロータリーの友を読む・例会に出席する・会費を払う、これがロータリーの 3 大義務であると言われます。私もロータリーの友から多くのことを学び、調べたり、確認したり有効に使っています。9 月号に二つの興味深い記事が掲載されていました。2011 年 3 月 11 日に起こった東日本大震災の孤児を対象に 22 年間の長い期間で考えられている「ロータリーの希望の風奨学金」入間ロータリーも毎年欠かさず寄付をしています。その現況と今後の 14 年間の展望が掲載されています。

当クラブも今後の長期的な援助継続についてより効果的な方法を模索する時期が到来しているかも知れません。また、我々が今、知っておかなくてはならないことに「日本国内の子供の貧困」があります。私たちは日本の子供たちの 16.3% (日本の子供の相対的貧困率・過去最悪) が相対的な貧困にさらされている事を知りません。6 人に一人が貧困なのです。国・地域・行政、民間ボランティアが子供たちを救おうと動き出しています。その一つがフードバンクです。また、両親共働きの家庭のお子さんが夏休みに居場所がないという問題がありました。「地域交流会の公民館の館長さん達に知恵を縛っていただきました。」ロータリークラブは多くのネットワークも持っています。

子供たちの貧困を助けるために動いている NPO 法人に寄付をする。子供たちに居場所を提供する。食料の仕分けのボランティアに参加する。入間ロータリークラブとして色々な支援策があると思いますが、最適な支援の一步を皆さんと一緒に考え踏み出して行きたいと思います。

< 幹事報告 >

豊田義継幹事

1. 9/8 RLI セミナー 関谷会員、滝沢会員、豊田会員、細田会員が出席しました。
2. 本日例会後、地区戦略計画委員会委員長 鈴木秀憲氏より依頼のあった件について臨時理事会を開きます。



3. 9 月ロータリーレート 1 \$ 112 円 < 予定等 >

① 9/21 秋の全国交通安全運動出陣式
会長出席予定。

●委員長報告

＜プログラム委員会＞ 馬路宏樹委員長

来週の日帰り美術館の送迎バスはアミーゴを6時半出発です。出席される方々には事務局よりFAX致します。

＜出席報告＞ 白幡英悟委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
44名	21名	52.50%	64.54%

事前欠席連絡 9名

＜ニコニコBOX＞ 木下登SAA

- ★山口伸一郎様ようこそ入間 RC へ 本日は卓話宜しくお願い致します。
「齋藤栄作君、豊田義継君、滝沢文夫君、木下登君、後藤健君」
- ★補佐訪問及び公式訪問 10 クラブ終了し残り1クラブです。「細淵克則君」
- ★忽滑谷さんゴルフの写真ありがとうございます。写真を見て2歳の娘が豊田幹事をパパと言っていました。「吉岡信人君」
- ★早退いたします。「吉永章子君」

■回覧、配布物

- ① 青少年交換派遣学生8月次報告書
- ② 第7回いるま環境フェアのご案内
- ③ 9月ロータリーの友月間に寄せて
- ④ 8/30 納涼夜間例会会計報告書
- ⑤ 9/20 日帰り旅行・R美術館出欠表
- ⑥ 10/18 入間南 RC 合同例会出欠席表
- ⑦ 他ロータリークラブ
- ⑧ 入間 RC 週報9号

✿山口伸一郎校長のご紹介

馬路宏樹プログラム委員長

県内高等学校及び特別支援学校の教員をお勤め後、平成17年県立総合教育センター指導主事をはじめ平成28年より県立入間わかさ高等特別支援学校校長を務められております。それでは卓話よろしくお願い致します。



■■■■講師卓話■■■■

《開校3年目の本校の取組》

～地域と共に進めるキャリア教育～

埼玉県立入間わかさ高等特別支援学校

校長 山口 伸一郎 様

開校3年目を迎えた本校は、高等部単独の特別支援学校である本校の使命は、生徒一人一人の自立と社会参加を実現するかと考えています。本校を卒業して社会人になっていく生徒が、自信を持って胸を張って社会に出ていけるように、本校では「生徒一人一人が社会に一步打って出る」をキーワードに、学校外に学びの機会を広げる取組を展開しています。普通科では校内実習で製作したオレンジリボン（児童虐待防止運動のシンボルマーク）を入間市役所に納品、それらは万燈まつりで広く市民に配る予定です。職業学科は「わかさ版デュアルシステム」として、近隣の会社や学校給食センター・保育園・ゴルフ場等での就労体験に継続的に取り組んできました。この他にも、部活動における高等学校との合同練習、「県西部地区新春書き初め秀作展」への出品、専門家の指導による「生け花教室」など様々な「一步打って出る」を実現してきました。また、県の新規事業「特別支援学校の新たな学び推進プロジェクト」の研究指定校にもなり、「生徒一人一人が社会に一步打って出る「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す、地域との連携・協働の取組」というテーマで進めています。



新しい学習指導要領は「10年後の社会がどうなっているか？」今以上に変化の激しい社会「正解」のない社会を考えて作られました。主体的・対話的で深い学び、社会に開かれた教育課程の実現には、勉強は学校内でもするが、学校外でも学ぶ時代です。生徒たちが「社会に打って出る」ためには、地域の皆様のご協力がなくては成り立ちません。日常的に地道にできる社会との繋がりをこれからドンドン遣っていかうと考えております。今後も宜しくご協力お願い致します。本日はこのような機会を頂きありがとうございました。

新しい学習指導要領は「10年後の社会がどうなっているか？」今以上に変化の激しい社会「正解」のない社会を考えて作られました。主体的・対話的で深い学び、社会に開かれた教育課程の実現には、勉強は学校内でもするが、学校外でも学ぶ時代です。生徒たちが「社会に打って出る」ためには、地域の皆様のご協力がなくては成り立ちません。日常的に地道にできる社会との繋がりをこれからドンドン遣っていかうと考えております。今後も宜しくご協力お願い致します。本日はこのような機会を頂きありがとうございました。

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0023 入間市扇台3-3-7 ハイッス斎竹101号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日12:30～13:30 ■会報委員長：水村雅啓



Rotary